

令和5年度 第8回「中奥地区 白山市ミライ会議」概要

日 時：令和5年8月19日（土） 10：00～11：00

場 所：中奥公民館

参加団体等：心和会、壮年会、スポーツ協会、町内会長会、防犯協会中奥支部、文化の里づくり協議会、北消防団東明分団、中好会、地区社会福祉協議会、コミュニティ中奥、公民館運営審議会、公民館長、市町会連合会理事など

発言【1】

- (1) AEDを設置しているのは、公民館、コンビニ、学校関係だが、高齢化に伴い各集会所にAEDを設置してはどうか。
- (2) 高齢者は、スマホやパソコンを持っていない方もいるので、AEDの設置場所に関して紙ベースで配布できないか。

【市】

- (1) 市が管理する公共施設では、リースによるAEDを適切に管理するため、施設管理者が常駐し、警備システム等で防犯対策をしている施設にAEDを設置しています。集会所におけるリースによるAEDの設置については、機器の管理、盗難等の課題が多く困難であると考えております。
- (2) AEDについては各地区の誰でもわかる場所（保育所、小中学校、地区公民館等公共施設）に設置しております。紙ベースでの周知については今後、検討してまいります。

発言【2】

- (1) 長竹町・福正寺町の歩道の雑草が気になる。市道の歩道の除草・清掃などの管理はどのようになっているのか。特に街路樹が無い道の歩道の除草・管理・清掃はどのようになっているのか。
- (2) 一昨年、美化パートナー制度を利用して草を刈ったが、木のようなセイタカアワダチソウは簡単には刈ることができない。雑草が茂った歩道の草を刈るには、チップソーが必要なので、支援の対象にしてほしい。

【市】

- (1) 雑草の除草については、市街地の主要な幹線道路を中心に、春と秋の2回実施しております。これに加え、危険箇所の通報等があれば、随時現地を確認し、対応しております。さらに、年間を通じて、白山みちと川の美化パートナー制

度により町内会や企業などが実施する、身近な道路や河川等の清掃美化活動に対し、草刈り機の燃料の一部、ごみ袋の支給、ごみの回収などの支援を行い、道路等の適正管理にご協力いただいております。

- (2) 白山みちと川の美化パートナー制度は、参加資格を設けずに町内会をはじめ各種団体など、できるだけ多くの方にご参加いただきたいと思います。身近な道路や河川等の清掃美化活動に対し、草刈り機の燃料の一部、ごみ袋の支給、ごみの回収などの支援を行っていますが、チップソーは何度でも使えるものなので、対象とすることは、これまで通り難しいと考えています。

発言【3】

国民健康保険の保険証が毎年配布されているが、保険証を毎年発行するのは無駄ではないか。また、普通郵便ではなく、保険証だけを簡易書留で送付しており、かなりの経費がかかっているのではないか。

【市】

現在、全国の市町村では、法令の規定に基づき1年程度の期限を定めて国民健康保険証の更新を行っております。

国保に加入の70歳以上の方の一部負担割合（病院の窓口で御負担いただく割合）は、前年所得に基づき8月1日から新たな一部負担割合が適用されることとなるため、白山市では、毎年この時期に保険証を更新することとしております。

また、保険証は確実にお手元に届ける必要があるため簡易書留により送付しております。

なお、令和6年秋に予定されているマイナンバーカードと健康保険証の一体化、現行の健康保険証の廃止により、保険証等の発行数は減少するものと思われます。

発言【4】

食の大切さ、有機食に関する知識が非常に不足している。こどもの時から、食べ物大切さ、有機栽培大切さの教育が必要だと思う。義務教育の中で、食農教育のより一層の充実化を図ってほしい。

【市】

白山市では児童生徒が生涯にわたって健全な心身を培い豊かな人間性を育むため、食育を推進しています。小学2年生の生活科で児童一人一人が自分で選

んだ野菜等の栽培をすることを通して、野菜への親しみをもたせ、生命の尊さを実感させるなどの学習を実施しています。

また、地域の農家の方に栽培に関する指導やアドバイスをお願いしている学校もあります。地産地消を含め、食育という形で重点的に取り組んでおり、今後も食に関わる指導の充実をはかっていきたいと思いをします。

発言【5】

- (1) 金沢市、能美市では、バスの中に小学生の絵が貼ってあったり、行く先のガイドに小学生の声を使用するなど、気軽にバスを利用できる工夫をしている。白山市も色々な工夫をし、普段、公共交通を利用しない人の目を向けさせる工夫をすれば良いのではないかと。
- (2) 松任地域商店街の横断歩道が消えかかったところで小学生が事故にあった。横断歩道の位置がはっきり分かるような施策もしていただければ有難い。

【市】

- (1) コミュニティバスの車内放送は、行先やバス停名等について、正確な発音で幅広い利用者に伝える必要があります。また、車内放送による協賛企業の案内によって広告収入を得ていることから、プロの声による放送を採用しています。小学生の声は親しみやかかわいらしさがありますが、人によっては聞き取りづらいつと感じる可能性もあることから、小学生の音声での実施は難しいと考えています。小学生の絵を貼ることやその他利用促進策については、実施可能なものを検討していきたいと思いをします。
- (2) 白山市通学路安全プログラムでは、市や県の道路管理者や白山警察署、学校関係者などの関係機関で構成される通学路安全推進会議を設置し、継続的に通学路の安全を確保するため、合同点検を継続して実施し、必要な施策や改善を進めています。
具体的には、各小中学校 PTA 等において通学路の再点検を行い、危険個所に対する要望書を作成し、要望のあった危険個所について、夏休み期間中の7月下旬から8月下旬にわたり、関係機関で合同点検を行い、点検結果を踏まえて会議において必要な施策や改善を検討しています。
横断歩道の引き直しについては、白山警察署を通じ早急に実施していただけるよう警察本部にお願いをしております。

発言【6】

全世帯の下水道への接続が必要だと思うが、未接続の世帯を市は把握しているのか。

【市】

下水道へ未接続の世帯は把握しています。市からも接続に向けて働きかけをしていますが強制はできない為、未接続の世帯へは、引き続き接続のお願いをしております。